

目標達成計画

作成日: 平成27年11月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念「敬愛の精神・奉仕の心」をそのままにホームの理念として掲げていました。開設して間もなかった為に法人本体の特養と足並みを揃え、継承する形となっていました。開設して一年を経過したので、法人の理念を基にグループホーム独自の理念をスタッフ全員で考え、事業所の目標として全員が意識を持って取り組んでいきたいと考えます。	働く職員が介護を行うに当たって、いつも心がけられるもの、そして遵守できるものを全員で考え掲げる。	グループホームの職員会議等で、全職員を交えて、事業所理念について話し合いを行う。その中で自らが必要と考え、共有できるものを選び、事業所理念として掲げる。ユニット内のわかりやすい所に掲示し、常に全員が意識できるようにする。	3ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と、看取りに関する指針を基盤とし、今後発生するであろう看取り期に対する対応ができるように、看護職員を中心として、介護職員の教育を行って、その時に備えていきたいと思います。	重度化及び看取りに関する指針の内容を職員全体で共有できるように努め、尊厳に充分配慮した終末期の介護が出来るようにしていく。	看護職を中心に、事業所内研修や外部研修で学び、全職員が共有できるようにする。また面会時等でご家族の気持ちや意向を伺いながら、気持ちに寄り添い準備を進めていきます。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。